

教職員の研修意欲と授業力の向上を目指した研修講座の在り方 ～充実したサテライト研修の創造を目指して～

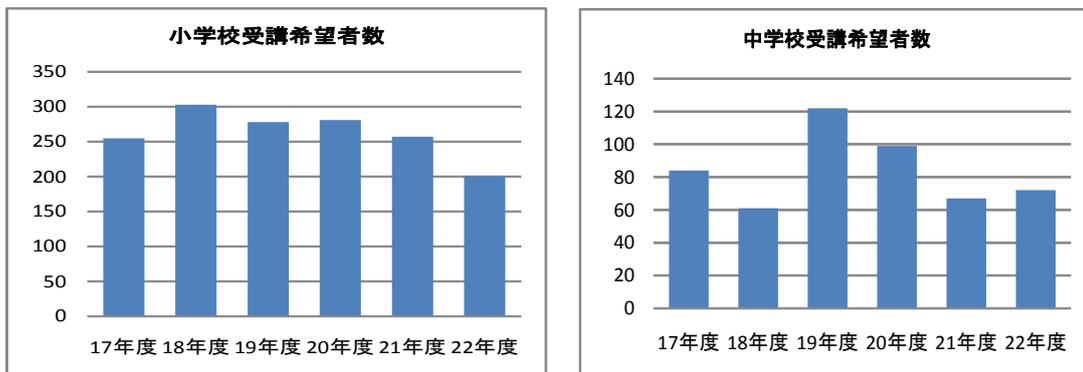
機関名 (宮崎県教育研修センター)

職・氏名 (学習・研修課 石川優子)

1 はじめに

宮崎県においては、平成19年3月に「教職員人材育成プラン」を策定し、教職員一人一人の教育力の向上を目指し、高い専門性を身に付けていくことを基本テーマとして掲げている。本教育研修センター学習・研修課課題別研修においては、その基本テーマの具現化を図る一つとして、「授業力向上研修」を設定し、教職員の研修意欲と授業力の向上を目指してきた。しかし、授業力向上研修における受講希望者の推移や、受講改善要望等から、研修講座の内容及び研修場所や時間の設定について見直しの必要がでてきた。そこで、教職員が積極的に研修に参加するとともに、教職員の資質の向上や学校の教育課題等の解決を図ることができる研修を目指して、本研究主題を設定し、研修内容及び研修体制の改善を行うこととした。

〔授業力向上研修（小～国、社、算、理、外活 中～国、社、数、理、英）の受講希望者の推移〕



〔受講者の改善要望〕

- 宮崎市内での研修が多いので、県北や県南でも研修があると参加しやすい。
- 教材研究を中心とした内容がよい。(手軽に取り組める教材づくり等)
- 講義は、ワークショップの形式の方が深まりそうだ。

2 研究の実際

(1) サテライト研修の内容の充実を図るための改善

これまで、授業力向上研修においては、児童・生徒の学力に関する課題や授業づくりについて、講義や協議という形で行っていた。しかし、演習などを多用した講座形態にしたり、普段の授業の中で受講者が悩んでいる課題の解決を図ったりする内容を大切にすることで、授業等への改善に役立つと考えた。

- ① 演習などを多用した内容の見直し
- みやざき学力調査等の結果から、教科、地域などの実態を踏まえ、指導方法の工夫・改善に生かす。
 - 模擬授業やワークショップでの研修を取り入れたり、実技等の教材研究を行ったりしながら、授業づくりのポイントを確認する。



〔講師による模擬授業〕

- ② 今日の教育課題に対応した講座の設定

前年度の研修センター研修受講者の意見や、サテライト研修に関する県内の公立学校からの研修要望アンケートから、通常学級における特別支援教育への講座の要望が強い。特別な配慮の必要な児童・生徒に対する適切な支援の在り方がつかめないことから、学級経営等に悩み、専門的な知識の習得を求めていると考えられる。

そこで今日の教育課題を考慮し、サテライト研修の講座として「通常学級における特別支援教育（基礎）」を設けた。

- ③ 受講者のニーズを取り入れた内容の組み立て

年度当初に講座内容を設定しているが、受講者の抱えている課題や、研修で学びたいことなどのニーズを事前にアンケートで把握し、必要に応じて研修講座の中に織り込んでいくことにした。

<例 授業力向上研修「中学校理科」の場合>

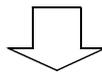
☆年度当初の講座内容

- 学力調査等の結果分析から考える指導方法の工夫・改善
- 天体望遠鏡を使った太陽の観察

☆事前アンケート

「簡単な望遠鏡なら大丈夫だが、高度な天体望遠鏡が操作できないのでそれを知りたい。」

「学力調査の結果の分析から、今の自分の課題を明らかにし、その解決の糸口を見つきたい。」



☆当日の具体的な講座内容

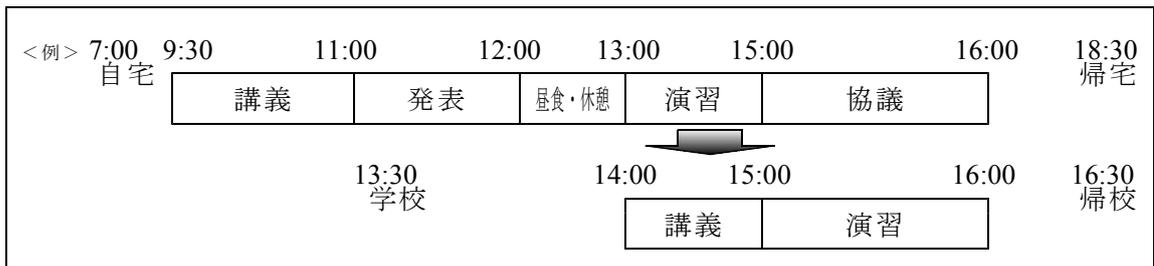
- ・天文台の職員による様々な望遠鏡の使い方の演習
- ・学力調査等の結果分析からみた授業づくりのポイント

(2) 研修意欲につながるサテライト研修体制の工夫

① 負担感の軽減

これまで、研修意欲はあるものの、研修場所の距離の遠さからくる時間や旅費の問題、業務の関係で終日学校を留守にすることが難しいことなどの理由で、研修講座の申し込みをためらう教職員もいた。そこで、県内を県北と県南の2つのエリアに分けたサテライト会場を設定し、距離への負担を減らした。また午前中の授業を行ってからでも間に合うように時間設定も行った。

〔サテライト研修時間〕

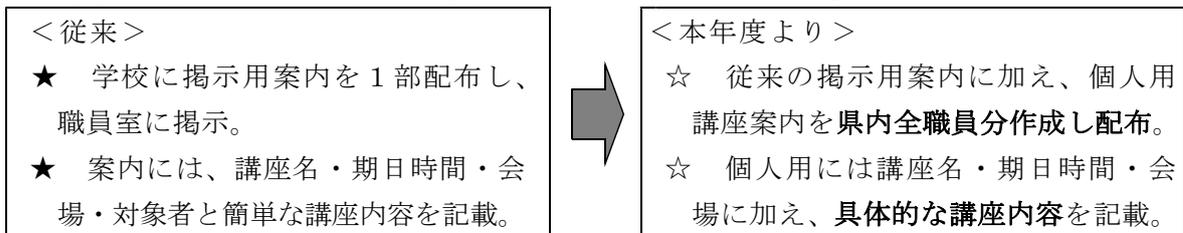


〔旅費予算の軽減〕

【研修センター1カ所のみで行った場合】		【サテライト会場2カ所で行った場合】	
参加人数	60名	参加人数	60名
旅費総計	84,916円	旅費総計	40,298円

② 講座内容の具体的な告知

本年度より、各学校の教職員に対する講座の広報方法を改善し、講座内容を教職員へ具体的に告知し、研修意欲へとつながるようにした。



〔H23年度課題別研修講座案内〕

職員番号	職名	氏名	
【授業力向上研修】★サテライト研修 《研修を県北エリア（A日程）、県南エリア（B日程）に分けて行う講座》			
希望	講座名	期日・時間	会場 講座内容等（◎外部講師）
	小学校国語科 A日程	6月14日（火） ★13:50～16:20	延岡市社会教育センター
	小学校国語科 B日程	6月27日（月） ★13:50～16:20	都城市中央公民館
	小学校社会科 A日程	6月28日（火） ★13:50～16:20	美郷町西郷ニューホープセンター
	小学校社会科 B日程	6月23日（木） ★13:50～16:20	都城市中央公民館
上	小学校算数科 A日程	6月21日（火） ★13:50～16:20	西都市コミュニティセンター
下	小学校算数科 B日程	6月16日（木） ★13:50～16:20	日南市南郷ハートフルセンター

3 成果と課題

～受講者の事後アンケートより～

- ・ 学力調査の分析とそこから明らかになる指導のポイントはインパクトがあり、非常に参考になった。
- ・ グループによる授業づくりのワークショップは充実していた。
- ・ 研修時間が短く、物足りない感じがした。
- ・ 午前中の業務を済ませた上で研修に参加できることは、負担軽減の観点から大変助かる。今後もこの形式を続けてほしい。
- ・ 遠方の学校に勤務するものにとってはありがたい。旅費の面でも助かる。

【成果】

① 授業力向上に関して

- 演習等を多用した講座内容にしたことで、主体的に研修に取り組み、授業改善につながるものとなった。
- 受講事前アンケートを行ったことで、受講者のニーズに合った研修を組むことができ、授業改善への手立てをより具体的に設定することができた。

② 研修意欲に関して

- 告知方法の改善により、講座内容を十分理解して参加する受講者が多くなり、研修意欲の向上に繋がっている。
- サテライト会場や研修時間の設定について工夫を行ったことで、午前中の授業を終えてから研修を受けることが可能となり、研修意欲への妨げとなる問題解消することができた。

【課題】

- 短い研修時間の中で研修の目的をしっかりと達成できるよう、さらに研修内容の精選を行うことが必要である。
- 南北に長い県の地形と学校の所在地を考慮し、設定場所の再考が必要である。
- 各教育事務所や市町村教育委員会、講師等と連携し、授業力向上に必要な研修について十分吟味し、講座設定していく必要がある。

4 おわりに

今回、研修内容と研修体制の2つの側面から、これまでの課題をもとに研修講座の工夫・改善を行った。今後、更に課題別研修の講座の在り方を探り、授業力向上及び高い専門性を身に付けた教職員の育成を図りたい。